



国際ロータリー2620地区

御殿場
ロータリー
クラブ<http://www.gotemba-rc.gr.jp/>御殿場
ロータリークラブ
モバイルサイト

第2249回 例会プログラム

- 例 会 場／駿富苑
- 開 会 点 鐘／18:00
- ロータリーソング／奉仕の理想
- 内 容／観月会 親睦活動委員会

会 員 慶 事

- 夫人誕生日／10月19日 秋田 敬君 ご夫人 昭子様
- 10月24日 豊山徹也君 ご夫人 洋子様
- 結婚記念日／10月23日 生野 旭君 つな子様 ご夫妻
- 10月23日 林 則夫君 三枝様 ご夫妻

会 長 挨 拶

高村 繁男



皆様こんにちは、先週は南足柄市のピール工場の視察に大勢の皆様に出席をして頂き大変楽しく、有意義な例会だったと聞いております。誠にありがとうございました。

それでは富士山シリーズ第14話 富士登山の第一人者は誰かについてお話をさせていただきます。

⑭富士登山の第一人者は誰か

富士山に一番最初に登った人は、伝説としていわれているのが聖徳太子です。平安時代に書かれた『聖徳太子伝暦』には、推古天皇6年（598）に聖徳太子が乗った甲斐国の黒駒が天を翔け、富士登山した伝説が記されており、現在でも富士山には聖徳太子伝説にまつわる駒ヶ岳などの名称が存在する他、古い絵画などにも聖徳太子が黒駒に乗って富士山に登る姿が描かれたものが存在しています。この聖徳太子の伝説は、聖徳太子を神聖化して出来たものであると思われますが、これにより頂上を目指す信仰が古くよりあったことを知ることが出来ます。

次に、富士山に登ったといわれるのが役小角（634～706）です。平安時代の文人都良香が著した『富士山記』には頂上のことが鮮明に書き綴られており、その中に富士山に最初に登った人物が役小角とあります。役小角は怪しい力を持っており人々を惑わすとして、伊豆大島に流された身でしたので、昼間はおとなしく島に居ましたが、夜になると富士山に登り修業をし、朝方までには帰ったといわれています。

役小角以後の登山の記録はあまり現れておらず、このことは富士山の噴火に関係があると思われる。事実700年代後半から900年頃にかけて多くの噴火の記録を見ることが出来、富士登山は不可能であったのではないかと考えられます。

それから時代が下り、富士山に登って修業した行者として末代がいます。末代は富士山に100回以上登り、久安5年（1149）山頂に大日寺を建立したとされています。頂上に大日寺を建立する為には1人では不可能ですから、この当時富士登山はある程度一般的に行われていたものと考えられます。

会長挨拶用
QRコード

10/11の出席報告

会員数	出席計算に 用いた会員数	出席者数	暫定出席率	前々回の 確定出席率
57名	55名	50名	90.91%	100%

欠席者（5名） ※やむを得ず欠席される方は、午前10時までにご連絡下さい。

橋本喜市君・井上 元君・勝又敏雄君・芹澤正明君・山口幸男君

9/27のメーキャップ

9月26日 長泉RC 山内強嗣君
9月28日 裾野RC 菅沼 久君



奉仕を通じて平和を
Peace through Service

次 回
10月25日の
例 会

★12:30点鐘
★ホテル御殿場館21
★米山月間にちなんで
米山記念奨学会委員会

この街とコミュニティFM



元 富士山エフエム設立推進協議会代表

関谷 葉子 様

皆様ご承知のように、先月の議会でこの事業への取り組みは中止され改めて切り直すこととなり、富士山エフエム設立推進協議会は解散いたしました。しかし、私たちの目的は単に放送局を持つことではなく、この街にコミュニティ放送を生み出すことでしたので、これからも一人でも多くの市民の皆様にその必要性をご理解いただき、いつかこの街に放送が流れる日が来ることを祈り、今日は「コミュニティFMとはどういうものか」を一市民としてお話しさせていただきたいと思います。

「コミュニティFM放送（CFM）」というのは限られた地域のみで放送される地域密着型、地元のために地元が作る情報発信放送局です。1990年のバブルのころ第一次ブームが始まり多くのCFMが生まれました。当時はお遊び感覚のラジオ好きの人たちが放送していましたが、阪神淡路大震災をきっかけにその役割は大きく変わり、昨年の東日本大震災では防災面で大きな役割を果たす最も重要な情報発信ツールとして地方自治体のみならず国を挙げて必要性に動き始めました。総務省ではCFMを「基幹放送局」として取り扱うようになり、どんな時も放送を中断させないしっかりとした放送設備と体制を持つ放送局としての規約が位置付けられました。またそれに伴い免許取得条件も厳しくなり、行政との連携が重要視され、経営計画の根拠、団体組織との協力体制など厳しい審査を受けて放送免許が発行されます。いい加減な放送局は認められません。

今回御殿場市と私共が事業切り直しに踏み切ったのも、放送局として成立する環境や条件が不十分であることが解り、今スタートすることが適切でないと判断したことによります。現在CFMは全国に262局、県内で9局が開局しています。先日、伊豆市と伊豆の国市が開局準備を始めた報

告がありましたので、県内でCFM局がないのは伊豆半島先端と御殿場・小山・裾野地域だけとなってしまいました。

CFMには2つの役割があります。一つは市民生活に密着した情報を毎日放送し生活に役立てると同時にラジオ放送を通じて街中の人々がつながりコミュニケーション豊かな楽しい街を作り上げることで、観光事業や商売活性に大きな役割を果たします。

もう一つは災害時に地域の情報をリアルタイムに放送し市民の安全と安心を届けるという大きな役割です。

テレビ放送はどうしても全国に向かって放送せざるを得ず、地域被災者と向き合う放送がなかなかできませんが、ラジオ放送では地域情報に徹することが許され、さらにリスナーの声を拾い上げることができます。地域密着のCFMは尚更で、喋る伝言板の役割が生まれます。また移動しながら聞けるので市民だけでなく観光客にも呼び掛けられます。今回の総務省の岩手・宮城・福島3県の調査によれば、地震発生当初役立ったメディアはAMラジオ60.1%、民間調査によると岩手県内で最も利用されたのは地元放送局と地元新聞だったそうです。家族安否情報にも圧倒的にラジオが使われました。

しかしどんなに大切な情報を流しても聞いてもらえなければ役に立ちません。CFMは、いかに普段から市民の皆さんに聞いてもらえる放送局にするかが大切です。市民に慣れ親しんでもらえるためのアイデアはたくさんあります。また観光都市御殿場では街の皆さんが観光ナビゲーターとなって地元民がお勧めする情報をお届けすれば、より観光を楽しんでもらうこともできます。今回行政100%出資でなく民間から出資をお願いしようと思った理由も街の皆さんの持ち物にし、皆の力で育てていきたいという思いがありました。

私は26～27年前に起こった大島の噴火時、現地で取材をした経験があります。自然が怒り出し大きな災害となると人間は本当に無力です。しかしその中でも家族・命を守らなければならないとき、皆で情報を与え合うことで被害を最小限にとどめることができていると思っています。防災の面でCFMというツールが役割を果たす可能性について、これを機会に今一度考えていただければたいへんありがたいと思います。

10/11のスマイル

先週10月4日の企業訪問には多数のメンバーの参加で終了いたしました。クラブメンバーの皆様、親睦活動委員会の皆様、ご苦労さまでした。

職業奉仕委員会

・10月13日(土)、14日(日)

青少年交流の家オープンハウスにて、御殿場ロータリークラブは「未来への手紙」と飲み物サービスの出展をしました。127通の手紙を書いていただき、220杯のコーヒー、200杯のカルピスが出ました。26名の会員の参加、協力がありました。ありがとうございました。

新世代委員会

司会者
浅谷 一君ソングリーダー
豊山 篤君出席報告
大胡田明寿君会員誕生日
勝又 洋君・豊山 篤君皆出席
小早川豊一君

第2620地区

御殿場ロータリークラブ

○例会日/木曜日

○例会場・事務局/YMCA 東山荘

静岡県御殿場市東山1052

電話/0550-83-1133 FAX/0550-83-1138

http://www.gotemba-rc.gr.jp/

会長 ○高村 繁男
幹事 ○臼井 良太
会報委員長 ○秋田 敬